

(総合的な学習の時間・生活科)

ふれあい、伝えあい、学びあう
体験したことや調べたことをもとに、
自分の考えをまとめたり、表現したりする力を育てる
～生活科・総合的な学習を通して～

大阪市立三軒家西小学校 熊取谷佳代子 米澤皓介 山根真由美

1. はじめに

本校では、学校教育目標を「豊かな心をもち、自ら進んで取り組み、たくましく生きる子どもを育てる」こととし、

たくましく・・・生命を尊重し、たくましく生きようとする心を育てる。

ねばり強く・・・基礎基本を身に付け、進んで課題解決に取り組む意欲を高める。

あたたかく・・・互いのよさを認め合い、ともに伸びようとする集団をつくる。

を校訓に、全教職員が一致団結して、日々の教育活動に取り組んでいる。

平成25、26年度の2年間、研究主題を「体験したことや調べたことをもとに、自分の考えをまとめたり、表現したりする力を育てる～生活科・総合的な学習を通して～」とし、「自分の考えを自分なりの表現方法で、相手に分かるように伝える」ことに、重点をおいて、研究に取り組んできた。その結果、伝える目的や相手を明確にし、学年、単元に応じていろいろな発表の仕方を工夫したことによって、相手に応じた伝え方をしようとする意識が高まり、自信をもって発表することができるようになってきている。

そこで、本年度は引き続き、同じ主題で「ふれあい、伝えあい、学びあう」をテーマに残された課題に取り組む、下記の3つの視点で研究を継続することにした。

体験や調べ学習を通して、子どもたちは、感じ、気づき、考える。そして、それぞれが、考えたことや分かったことをまとめ、表現する活動により、自分がどう感じ考えたのかを整理し、ものごとを関連付けて判断できるようにしたい。さらに、友達とともに学び交流することで、多様な情報を知り、新しい視点を見つけ、考えを広げたり、深めたりできるようにしたい。

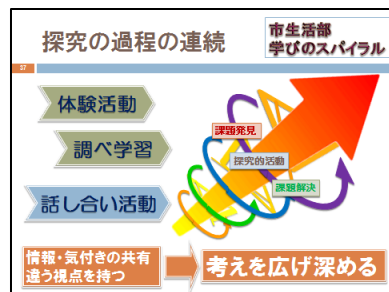
2. 研究の概要

(1) 研究の視点

- ① 課題意識を明確にして、体験活動に取り組む。
- ② 自分の考えを自分なりの表現方法で、相手に分かるように伝える。
- ③ 協同的な学びの場を通して、考えを深められるようにする。

(2) 研究の内容

- ① 子どもに身に付けさせたい力を明確にする。
- ② 年間指導計画を作成する。
- ③ 探究的な学習過程をふまえる。
- ④ 発表形態を工夫する。
- ⑤ 全体交流の場の工夫をする。
- ⑥ 国語科などで話し合う力をつける。
- ⑦ ルーブリックを設定する。
- ⑧ シンキングツールを活用する。



(3) 実践事例

① 年間指導計画の作成

- ・メインテーマを決め、課題解決のための体験活動を組み入れた。
(1・2年生は生活科のねらいに迫る体験、3年生「福祉」、4年生「防災」、5年生「米作り」、6年生「平和学習」)

② 発表形態の工夫

- ・「表現の仕方」、「人数」、「机などの配置」を工夫し、自分の考えを自分なりの表現方法で相手に分かるように伝えた。
(劇、ポスターセッション、掲示物、ペア、グループ、円形等)

③ ルーブリックの設定

- ・ルーブリックとは、学習課題をより具体化した評価基準のこと。
- ・授業のはじめに、指導者と子どもたちが話し合っ、A、S (Aは全員が達成できるもの、Sはそれを上回るもの) の2段階の評価基準を決める。
- ・授業の終わりに自己評価をして、ルーブリックが達成できているか振り返るようにする。
(ビデオ：第6学年「平和な世界をめざして」、第2学年「まちたんけん」)

④ シンキングツールの活用

- ・シンキングツールとは、頭の中にある情報を具体的なかたちにして書き込むシンプルな図形の枠組みのこと。
(シンキングツールの活用例：ウェブマップ、Xチャート、ベン図、ボーン図等)

3. 研究のまとめ

(1) 研究の成果

- ルーブリックを話し合っ設定することで、評価基準が具体的になり、主体的に活動することができた。また、ルーブリックを使って自己評価することで、子どもたち自身がその時間を振り返り、課題を達成したことを実感することができた。
- シンキングツールを活用したことで、思考の流れが可視化され、自分の考えをまとめて整理することができた。書いたシンキングツールを基にグループや全体の話し合い活動に積極的に取り組むことができた。
- 「課題発見→探究的活動→課題解決」を繰り返す行うような指導計画を立てたことにより、子どもたちは、達成感を得て、新たな課題へ目的意識をもって、さらに取り組むことができた。このような一連の学びによって知識も広がり、深く考えることができた。

(2) 今後の課題

- 子どもにつけたい力を明確にして、学習課題を設定し、ルーブリックが適しているか吟味する。
- 考えを整理する力をさらに付けられるように、目的に応じたシンキングツールを選ぶ。
- 意見交流をより活発にし、考えを深められるように、話題の焦点化やゆさぶりをかけるような発問の仕方を工夫する。